

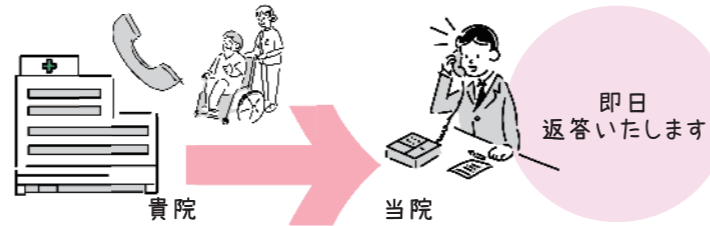
患者さんご紹介の流れ

①転院についてのご相談・お手続きについて
お電話にて、患者さまのご相談をお受けいたします。
ご紹介の後、診療情報提供書をFAXにてお送りください。
患者さまの状態に合わせて、柔軟に対応させていただきます。
※当院への送迎が必要な場合は、お気軽にご相談ください



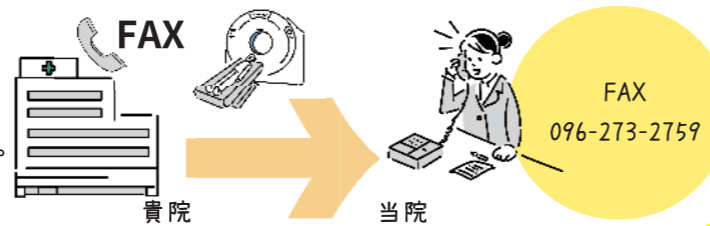
②外来・入院紹介について

地域医療連携室へご連絡いただき、簡単な聞き取りをさせていただきます。速やかに医師と相談の後、お受入れの可否をいたします。
※入院の可否は外来受診後の担当医師判断になります



③各種検査依頼について

MRI や CT 等の検査依頼書はホームページにございます、
検査依頼書をご利用の上、FAX 後にお電話をお願いします。



昨年度より前方連携（入院転院受け入れ）の専門スタッフを配置し、転院お受入れに対し全力を尽くしております。当院では皆様からの転院ご紹介に際しまして、転院日時等のご相談にも臨機応変に対応いたします。

- ①できるだけ速く転院紹介し、入院のための病床を利用したい
- ②当日、または翌日中にご返信が必要な場合



地域医療連携室
理学療法士 野村

上記のようなお悩み以外にも、是非一度お気軽にご相談下さい。ご連絡は地域医療連携室 野村まで

→096-272-0601

MAP



交通アクセス

- ▶九州産交バス／熊本～山鹿線
寺尾病院前バス停より…徒歩約1分
- ▶JR九州／JR鹿児島本線
植木駅下車……タクシーで約8分
- ▶自家用車／九州自動車道
植木インターより…車で約10分
北熊本スマートインター…車で約8分

お知らせ

寺尾病院SNS一覧。是非一度覗いてみて下さい。



HP



Instagram



LINE

TERAO

NEWS



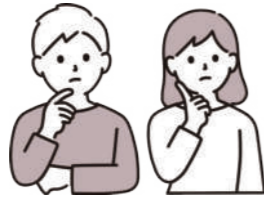
2023.09 VOL.34

資格取得支援 人財育成の取り組み

シフトが入れないから収入面が心配。。。。

学校優先だと休みなど周りに迷惑をかけてしまうかも。。。。

私に出来るかな。。。。



学校も仕事も両立は大変そう。。。。

当院で提供する医療の質的向上のため、職員の資格取得を積極的にバックアップしています。今年度、看護補助者から准看護師になった職員が2名、看護補助者・介護職員から介護福祉士になった職員が3名います。当院では、働きながらスキルアップを目指す職員を全面的に支援します。

支援体制の一例

資格取得を目指す人のための奨学金制度を設けています。
働きながら学校へ通う職員について、勤務調整等の面で配慮しています。
看護師資格取得のために通学する学校を限定していません。
働きながら看護師資格取得を目指すことを前提に就職を希望する方も受け入れています。

資格取得後の評価

資格を取得した職員については、努力と知識・技術の向上を評価し、資格手当の形で給与に反映しています。

人財育成

昨年から新たに人事課を設置し人財育成にも力を入れています。
社会人・組織人・専門職業人として自律するための支援体制を整えています。
個人で受ける院内研修・院外研修に参加することを積極的に支援する為、研修参加費用はもちろん交通費・旅費も全額病院負担の支援体制があります。当院の基本理念にもある安心安全納得の医療を最新の知識と技術をもとに提供出来るよう個々のスキルアップを応援しております。

寺尾 de 夜市

令和5年9月3日（日）当院駐車場内にて夜市が行われました。予想をはるかに上回る大盛況に終わりました。炎天下の中、来場者さまをお待たせしないよう奮闘していただいた主催者さまには感謝感謝でございます。寺尾職員はもちろん地域の皆さまにも楽しんでもらえ、ご協力していただいた近隣住民、周囲の施設の皆さま、職員ありがとうございました。これからも医療の枠を超えて地域を盛り上げていければと思います。

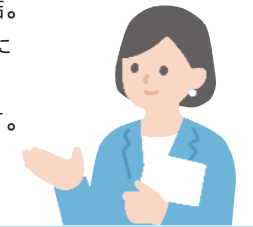


第46回全国デイ・ケア研究大会 2023 in 八王子

2023年7月21日～22日

全国デイケア・ケア研究大会とは

通所リハビリテーション（デイケア）に関わる医療福祉の多職種が全国から集結。特別講演、教育講演、演題発表（100題）、これからの通所事業に過去・未来に関わる講演、事例発表があります。
大会の一部（福祉機器展）を無料開放し、市民の皆様もご覧いただける大会です。
当院から代表してリハビリテーション部の西田さんが参加されました。
以下西田さんの感想になります。



～感想～

今回、私は全国デイケア研究大会に参加し、当院デイケア利用者の栄養に関して発表をさせていただきました。研究を始めた理由は、近年介護分野において栄養面に関して注目されていることもあり、当院デイケアでも何か取り組むことが出来ないかと思ったことがきっかけです。そこで、利用者1人1人の身長や体重、BMIや体重推移の状況をまとめ、リスク基準をもとに低栄養リスク者の算出を行いました。結果、当院デイケア利用者の約25%程度の方が低栄養リスクに該当することが分かりました。今回の研究では低栄養の原因追及までは行いませんが、調査した内容を含め、今後も継続して調査を行い、少しでもデイケア利用者の生活支援に繋がればと思います。

初めての研究だったため、悩むことも多かったのですが、周囲のスタッフにアドバイスをもらいながら取り組むことができました。発表当日はとても緊張しましたが、無事発表を終えることが出来たと思います。とても貴重な経験になりました。

また、2日間の研究大会を通じて、たくさんの他施設の発表や講演を聴講させていただきました。他施設の取り組みを学ぶことができ、私自身の考え方や今後の取り組み姿勢等、改めて考え直すいい機会になりました。今回、学んだことを今後の業務にいかしていきたいと思っています。

リハビリテーション部
西田 茉奈

実際の様子

